

# 5月の果実の見通し

令和2年4月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
いちご類	栃木 福岡 静岡 佐賀 など	2642	90%	2507	922	高い	878	-	-	各県とも5月上旬まではまとまった出荷量であるが、中旬以降は減少する。 本年度の総出荷量は各県とも少なく、販売終盤にあたる5月の出荷量増加を望んでいるが、次の作業があるため徐々に切り上がる産地もある。
おうとう	山形 など	131	100%	141	2812	安い	3160	47	36.0%	ハウス物の出荷は前年に比べて開始が遅い。山形県産は、4月の曇雨天により寒暖差が大きく、生育が遅れている。長野県・山梨県産も同様。4月下旬から「母の日」に向けて徐々に出荷量は増える。 露地物は、山形県産「紅さやか」は天候に恵まれれば、5月末から出荷開始の予定。
すいか類	熊本 千葉 茨城 など	6806	105%	6651	281	安い	290	-	-	【大玉】熊本県産は生育順調で、4月下旬から出荷ピークに入り、5月下旬まで続く。千葉県産は5月上・中旬からハウス物の出荷が始まるが、前年に比べて出荷量は少ない。 【小玉】熊本県産は4月中旬から増加するが、その後だらだら出荷となり、5月中旬まで続く。群馬県産のピークは4月下旬から、茨城県産も5月上・中旬からピークに入り、出荷量は前年を上回る。
メロン類	茨城 熊本 静岡 など	3164	105%	3314	506	安い	534	3	0.1%	【アンデス】熊本県産は4月中・下旬にピークを迎え、5月10日頃終了予定。茨城県産のピークは5月中旬から6月中旬まで。全体的に玉伸びが良く、2L、L中心の仕上がり。 【クインシー】熊本県産のピークは、早い産地では4月下旬から、後続産地は5月中旬からで、5月いっぱい潤沢な出回り。 【タカミ】熊本県産は5月連休明けからスタート、中旬ピーク。茨城県産は中旬から出荷開始。 【アールス】主力の静岡県産は春系品種中心だが、中旬以降夏系の割合高まる。作柄は順調で正品率は高く、前年並みからやや増加。
マンゴー	宮崎 など	137	100%	116	2718	安い	3444	-	-	宮崎県産は生育順調で、5月から増加し、出荷ピークは昨年同様で5月下旬から6月下旬。「太陽のタマゴ」の出回りも順調、「母の日」に向けて若干少なく感じる。 鹿児島県産の生育は昨年並みで、5月に出荷ピークを迎える。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)